

論点整理ペーパー及び農薬専門調査会体制

(平成 26 年 4 月農薬専門調査会決定)

	頁
農薬専門調査会体制（平成 26 年 4 月農薬専門調査会決定）	1

【参考】

(部会で ADI が決定し幹事会へ報告する農薬)

アシュラム.....	2
------------	---

(既に食品健康影響評価の結果を有している農薬)

アセタミプリド.....	5
--------------	---

メトコナゾール.....	6
--------------	---

農薬専門調査会体制(平成26年4月農薬専門調査会決定) (平成26年6月最終改訂)

幹事会

農薬専門調査会座長、各部会座長、各部会座長代理、座長が指名した者

幹事会

西川 秋佳	《座長》
納屋 聖人	《副座長》
赤池 昭紀	長野 嘉介
浅野 哲	林 真
上路 雅子	本間 正充
小澤 正吾	松本 清司
三枝 順三	與語 靖洋
代田 真理子	吉田 緑
永田 清	

審議結果を幹事会に報告

評価第一部会

- 篠原 厚子
(清泉女子大教授・動物代謝)
- 平塚 明
(東京薬科大教授・動物代謝)
- 山崎 浩史
(昭和薬科大教授・動物代謝)
- 上路 雅子《座長》
(日植防理事長・植物代謝)
- 清家 伸康
(農環研主任研究員・植物代謝)
- 相磯 成敏
(バイオアッセイ研部長・毒性)
- 赤池 昭紀《副座長》
(名古屋大教授・神経毒性)
- 浅野 哲
(国際医療福祉大学教授・毒性)
- 藤本 成明
(広島大准教授・毒性)
- 福井 義浩
(徳島大教授・生殖)
- 堀本 政夫
(千葉科学大教授・生殖)
- 林 真
(安評センター理事長・遺伝毒性)
- 若栗 忍
(秦野研研究員補・遺伝毒性)

評価第二部会

- 小澤 正吾
(岩手医科大教授・動物代謝)
- 杉原 数美
(広島国際大教授・動物代謝)
- 細川 正清
(千葉科学大部長・動物代謝)
- 腰岡 政二
(日本大教授・植物代謝)
- 吉田 充
(日本獣医生命科学大教授・植物代謝)
- 川口 博明
(鹿児島大准教授・毒性)
- 佐藤 洋
(岩手大特任教授・毒性)
- 松本 清司《副座長》
(信州大教授・毒性)
- 吉田 緑《座長》
(国衛研室長・毒性)
- 桑形 麻樹子
(秦野研室長・生殖)
- 山本 雅子
(麻布大学教授・生殖)
- 根岸 友恵
(岡山大准教授・遺伝毒性)
- 本間 正充
(国衛研部長・遺伝毒性)

評価第三部会

- 中島 美紀
(金沢大教授・動物代謝)
- 永田 清
(東北薬科大教授・動物代謝)
- 田村 廣人
(名城大教授・植物代謝)
- 中山 真義
(農研機構研究領域長・植物代謝)
- 小野 敦
(国衛研主任研究官・毒性)
- 三枝 順三《座長》
(日本実験動物学会事務局長・毒性)
- 高木 篤也
(国衛研室長・毒性)
- 義澤 克彦
(関西医科大講師・毒性)
- 納屋 聖人《副座長》
(安評センター理事・生殖)
- 八田 稔久
(金沢医科大教授・生殖)
- 太田 敏博
(東京薬科大教授・遺伝毒性)
- 増村 健一
(国衛研室長・遺伝毒性)

評価第四部会

- 加藤 美紀
(名城大准教授・動物代謝)
- 玉井 郁巳
(金沢大教授・動物代謝)
- 本多 一郎
(前橋工科大教授・植物代謝)
- 與語 靖洋
(農環研研究コーディネータ・植物代謝)
- 井上 薫
(国衛研主任研究官・毒性)
- 長野 嘉介《副座長》
(長野毒性病理コンサルティング(元バイオアッセイ研副所長)・毒性)
- 西川 秋佳《座長》
(国衛研安全性研究センター長・毒性)
- 山手 丈至
(大阪府立大教授・毒性)
- 代田 真理子
(麻布大教授・生殖)
- 中塚 敏夫
(JST主任調査員・生殖)
- 佐々木 有
(八戸高専教授・遺伝毒性)
- 森田 健
(国衛研室長・遺伝毒性)

アシュラム

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定基準 ・ インポート ・ トレランス 	スルファニルアミド系/ カーバメート系	7,8-ジヒドロプテロ イン酸シンターゼ 阻害による葉酸の 生合成阻害	除草剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬抄録 ・ 海外資料 (EPA、EFSA)

【試験成績の概要】

1. ラットを用いた動物体内運命試験の結果、アシュラムは投与後 23～30 分で T_{max} に達し、 $T_{1/2}$ は 2.62～15.4 時間であった。経口投与されたアシュラムの吸収率は、少なくとも 84.1% であり、投与後 72 時間で尿及び糞中に 97% TAR 以上排泄された。アシュラムは主に尿中に排泄された。アシュラムは尿中に最高で 79.2% TAR、糞中に最大 3.9% TAR 認められた。主要代謝物として M1、M2 及び M4 が認められた。
2. 畜産物体内運命試験の結果、10% TRR を超える代謝物として、M1 が乳汁中に 64.1～65.8% TRR、肝臓及び腎臓中に 6.36～23.4% TRR 及び 48.9～59.4% TRR 認められ、M2 が肝臓中に 16.0% TRR 認められた。
3. 植物体内運命試験の結果、主要成分は未変化のアシュラムであり、10% TRR を超える代謝物は認められなかった。
4. アシュラムを分析対象化合物とした畜産物残留試験の結果、乳牛の乳汁中に最大 1.16 $\mu\text{g}/\text{mL}$ 認められ、臓器中には、腎臓に最大 3.56 $\mu\text{g}/\text{g}$ 認められた。
5. 各種毒性試験結果から、アシュラム投与による影響は、主に体重（増加抑制）、血液（貧血等）及び甲状腺（ろ胞上皮細胞肥大等）に認められた。
6. 催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。
7. ラットを用いた繁殖試験において新生児数減少が認められた。
8. 慢性毒性/発がん性試験において、ラットの雄で副腎褐色細胞腫が認められ、マウス雄で精巣ライディッヒ細胞腫が増加したが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

アシュラム(ASULAM)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	
農産物に係る基準値																						
米(玄米)	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2							4	
小麦	0.02	その他								6-4	0.5	登録		0.5								4
大麦	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
ライ麦	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
とうもろこし	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
そば	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
その他の穀類	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
大豆	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2			0.1					3-1
小豆類	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
えんどう	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
そら豆	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
らっかせい	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
その他の豆類	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
ばれいしょ	0.4	海外				0.4				5	0.2	登録		0.2								4
さといも類(やつがしらを含む。)	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
かんしょ	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
やまいも(長いもをいう。)	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
こんにやくいも	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
その他のいも類	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
てんさい	0.02	その他								6-4	0.2	登録		0.2								4
さとうきび	0.5	登録	0.5		0.1	0.1				3-1	0.2	登録		0.2								4
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
かぶ類の根	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
かぶ類の葉	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
西洋わさび	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
クレソン	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
はくさい	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
キャベツ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
芽キャベツ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
ケール	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
こまつな	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
きょうな	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
チンゲンサイ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
カリフラワー	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
ブロッコリー	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他のあぶらな科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
ごぼう	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
サルシフィー	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
アーティチョーク	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
チコリ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
エンダイブ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
しゅんぎく	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他のきく科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2			0.1					3-1
たまねぎ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
ねぎ(リーキを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
にんにく	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
にら	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
アスパラガス	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
わけぎ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他のゆり科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
にんじん	0.2	登録	0.2							4	0.02	その他		0.02								6-4
パースニップ	0.2	登録	0.2							4	0.02	その他		0.02								6-4
パセリ	0.2	登録	0.2							4	0.02	その他		0.02								6-4
セロリ	0.2	登録	0.2							4	0.1	海外		0.1			0.1					5
みつば	0.2	登録	0.2							4	0.2	独立		0.2								4
その他のせり科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	独立		0.2								4
トマト	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
ピーマン	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
なす	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他のなす科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
しろうり	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
すいか	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
メロン類果実	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
まくわうり	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他のうり科野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
ほうれんそう	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
たけのこ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
オクラ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
しょうが	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
未成熟えんどう	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
未成熟いんげん	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
えだまめ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
マッシュルーム	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
しいたけ	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他のきのこ類	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4
その他の野菜	0.2	登録	0.2							4	0.2	登録		0.2								4

アシラム(ASULAM)

食品名	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米国	豪州	加国	EU	NZ	類型	加工食品に係る基準値			
												残留基準値	参考基準国	残留基準	Codex
畜水産物に係る基準値												加工食品に係る基準値			
牛の筋肉	0.1	海外					0.1				5				
豚の筋肉	0.1	海外					0.1				5				
その他の陸棲哺乳類の筋肉	0.1	海外					0.1				5				
牛の脂肪	0.1	その他									6-3				
豚の脂肪	0.1	その他									6-3				
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.1	その他									6-3				
ミネラルウォーター類に係る基準値															
牛の肝臓	0.1	海外					0.1				5				
豚の肝臓	0.1	海外					0.1				5				
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.1	海外					0.1				5				
牛の腎臓	0.1	海外					0.1				5				
豚の腎臓	0.1	海外					0.1				5				
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.1	海外					0.1				5				
牛の食用部分	0.1	海外					0.1				5				
豚の食用部分	0.1	海外					0.1				5				
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.1	海外					0.1				5				
乳	0.1	海外					0.1				5				
鶏の筋肉															
その他の家禽の筋肉															
鶏の脂肪															
その他の家禽の脂肪															
鶏の肝臓															
その他の家禽の肝臓															
鶏の腎臓															
その他の家禽の腎臓															
鶏の食用部分															
その他の家禽の食用部分															
鶏の卵															
その他の家禽の卵															
魚介類(さけ目魚類に限る。)															
魚介類(うなぎ目魚類に限る。)															
魚介類(すずき目魚類に限る。)															
魚介類(その他の魚類に限る。)															
魚介類(貝類に限る。)															
魚介類(甲殻類に限る。)															
その他の魚介類															
はちみつ															

※留意事項※

※表の見方他※

- ・「残留基準値」の列(太字・黄色背景)にある数値が、現在「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月28日厚生省告示第370号)」において告示されている基準値である。
- ・基準値が空欄の食品については、一律基準値0.01ppmが適用される。
- ・表中の農作物、畜水産物、加工食品の名称は、告示されているものと便宜的に異なる場合がある。
- ・個別の食品がどの分類に属するかの詳細については、別途お示しすることとしているが、該当がない食品(ワカメ等の海藻類や、ワニの肉、プロボリス等のその他食品)については、一律基準値が適用される。
- ・加工食品については、当該加工食品に基準値がある場合、また当該加工食品から派生した加工食品について判断する場合、加工食品の基準が優先して適用される。
- ・なお、加工食品のうち残留基準を設定しないものについては、原則として、残留基準に適合した原材料を用いて製造され又は加工されたものであれば、流通を可能とすることとする。

- ・表中の残留基準値は、平成17年11月29日現在のものであり、今後随時改訂されることがあり得る。
- ・表中の登録保留基準値、国際基準値、海外基準値等は、原則として暫定基準等(最終案)公表時に当方が把握していたものであり、最新の情報とは異なる可能性がある。

アセタミプリド（第3版）

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価書に追加した資料
・はちみつへの基準値設定の要請 ・適用拡大	ネオニコチノイド系	神経の興奮とシナプス伝達の遮断	殺虫剤	・作物残留試験 ・蜂蜜における残留試験 ・JMPR 資料 ・EFSA 資料（意見書） ・EFSA 意見書に対する申請者の見解

【審議内容】

1. はちみつへの基準値設定の要請及びかんしょ、にんじん等への適用拡大に係る諮問による第3版の審議。
2. 急性参照用量の設定。

メトコナゾール（第5版）

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	追加資料
適用拡大	トリアゾール系	エルゴステロール生合成阻害	殺菌剤	・ 作物残留試験 （たまねぎ） ・ 植物体内運命試験 （なたね）

【試験成績の概要（追加試験）】

1. 作物残留試験（たまねぎ）の結果、いずれも検出限界未満であった。
2. 植物体内運命試験の結果、主要成分は未変化のメトコナゾールであり、代謝物として M11 及び M35 が認められた。

以上より、暴露評価対象物質及び ADI の変更はないと思われる。